

1. 準備

(製品名・機種型番等は、現時点でバイオバンクが採用しているものを提示している)

- 採血管 バキュテイナ採血管(TMC)血清分離剤入り5mL(株式会社テクノメディカ)またはインセパックII-D 凝固促進剤/分離剤入り 5ml(極東製薬工業株式会社)
- 48 Jacket Tubes 2.0mL External-Type (FCR & Bio)
- 100穴フリーザーラック(2D用) (FCR & Bio)
- 遠心機(Kubota 4000 または Kubota 2800)



バキュテイナ採血管(TMC)
血清分離剤入り
5mL
(株式会社テクノメディカ)



インセパックII-D
凝固促進剤/分離剤入り
5ml
(極東製薬工業株式会社)



48 Jacket Tubes 2.0mL
External-Type
(FCR & Bio)

2. 採血と分離(病院臨床検査室での作業)

- 2-1. 準備した採血管に採血した後、37°C(ヒートブロック)で15分静置。
- 2-2. 室温で3500 rpm、5分間遠心。
- 2-3. 検査室の冷蔵庫に一時保存(保存時間は個別検体情報に別途記載)。

3. 分注(バイオバンク試料調整室での作業)

- 3-1. 検査室に保存している血清をバイオバンクに移送(on ice)。
- 3-2. 検体番号ラベルを貼ったチューブに(500 μ Lまたは1000 μ L)分注。

4. 保存

- 4-1. チューブは100穴フリーザーラック(2D用)に並べ、超低温(-80°C)フリーザーで保存。
- 4-2. 検体管理システムに検体情報を入力。

➤ 一部は別棟のフリーザーで保管。